

ゼパニヤ書

第一章

「ユダの王アモンの子ヨシヤの世に、ゼパニヤに臨んだ主の言葉。ゼパニヤはクシの子、クシはゲダリヤの子、ゲダリヤはアマリヤの子、アマリヤはヒゼキヤの子である。」

主は言われる、

「わたしは地のおもてからすべてのものを一掃する。」

主は言われる、

「わたしは人も獣も一掃し、

空の鳥、海の魚をも一掃する。

わたしは悪人を倒す。

わたしは地のおもてから人を断ち滅ぼす。」

「わたしはユダとエルサレムの

すべての住民との上に手を伸べる。

わたしはこの所からバアルの残党と、

偶像の祭司の名とを断つ。

また屋上で天の万象を拝む者、

主に誓いを立てて拝みながら、

またミルコムをさして誓う者、

主にそむいて従わない者、

主を求めず、主を尋ねない者を断つ。」

主なる神の前に沈黙せよ。

主の日は近づき、

主はすでに犠牲を備え、

その招いた者を聖別されたからである。

主の犠牲をささげる日に、

「わたしはつかさたちと王の子たち、

およびすべて異邦の衣服を着る者を罰する。

その日にわたしはまた、すべて敷居をとり越え、

暴虐と欺きとを自分の主君の家に満たす者を罰する。」

主は言われる、

「その日には魚の門から叫び声がおこり、

第二の町からうめき声がおこり、

もろもろの丘からさまざまの響きがおこる。

二 しっかりと家の住民よ、泣き叫べ。

あきないする民は皆滅ぼされ、

銀を量る者は皆断たれるからである。

三 その時、わたしはともしびをもって、

エルサレムを尋ねる。

そして滓の上に凝り固まり、

その心の中で

『主は良いことも、悪いこともしない』と

言う人々をわたしは罰する。

三 彼らの財宝はかすめられ、

彼らの家は荒れはてる。

彼らは家を建てても、それに住むことができない、

ぶどう畑を作っても、

そのぶどう酒を飲むことができない。

四 主の大いなる日は近い、

近づいて、すみやかに来る。

主の日の声は耳にいたい。

そこに、勇士もいたく叫ぶ。

五 その日は怒りの日、

なやみと苦しみの日、

荒れ、また滅びる日、

暗く、薄暗い日、

雲と黒雲の日、

六 ラッパとときの声の日、

堅固な町と高いやぐらを攻める日である。

七 わたしは人々になやみを下して、

盲人のように歩かせる。

彼らが主に対して罪を犯したからである。

彼らの血はちりのように流され、

彼らの肉は糞土のように捨てられる。

主の怒りの日には彼らを救うことができない。

八 全地は主のねたみの火にのまれる。

主は地に住む人々をたちまち滅ぼし尽される。

第二章 あなたがた、恥を知らぬ民よ、

共につどい、集まれ。

九 すなわち、もみがらのように追いやられる前に、

主の激しい怒りがまだあなたがたに臨まない前に、

主の憤りの日がまだあなたがたにこない前に、

十 すべて主の命令を行うこの地のへりくだる者よ、

主を求めよ。

正義を求めよ。

謙遜を求めよ。

十一 そうすればあなたがたは主の怒りの日に、

あるいは隠されることがある。

十二 ともあれ、ガザは捨てられ、

アシケロンは荒れはて、

アシドドは真昼に追ひ払われ、

エクロンは抜き去られる。

十三 わざわいなるかな、

海べに住む者、

ケレテの国民、

ペリシテびとの地、

カナンよ、

主の言葉があなたがたに臨む。

わたしはあなたを滅ぼして、

住む者がないうににする。

海べよ、あなたは牧場となり、羊飼の牧草地となり、

また羊のおりとなる。

海べはユダの家の残りの者に帰する。

彼らはその所で群れを養い、

夕暮にはアシケロンの家に伏す。

彼らの神、主が彼らを顧み、

その幸福を回復されるからである。

「わたしはモアブのあざけりと、

アンモンの人々の、のしりを聞いた。

彼らはわが民をあざけり、

自ら誇って彼らの国境を侵した。

それゆえ、万軍の主、イスラエルの神は言われる、

わたしは生きてゐる。

モアブは必ずソドムのようになる。

アンモンの人々はゴモラのようになる。

いらくさと塩穴とがここを占領して、

永遠に荒地となる。

わが民の残りの者は彼らをかすめ、

わが国民の残りの者はこれを所有する」。

「この事の彼らに臨むのはその高ぶりによるのだ。

彼らが万軍の主の民をあざけり、

みずから誇ったからである。

主は彼らに対して恐るべき者となられる。

主は地のすべての神々を飢えさせられる。

もろもろの国の民は、

おのおの自分の所から出て主を拝む。

エチオピアびとよ、あなたがたもまた

わがつかるぎによつて殺される。

主はまた北に向かつて手を伸べ、

アッスリヤを滅ぼし、

ニネベを荒して、

荒野のような、かわいた地とされる。

家畜の群れ、もろもろの野の獣はその中に伏し、

はげたかや、やまあらしはその柱の頂に住み、

ふくろうは、その窓のうちになき、

からすは、その敷居の上に鳴く。

その香柏の細工が裸にされるからである。

この町は勝ち誇って、安らかに落ち着き、

その心の中で、

「ただわたしだけだ、わたしの外にはだれもない」と

言った町であるが、

このように荒れはてて、

獣の伏す所になつてしまった。

ここを通り過ぎる者は

皆あざけつて、手を振る。

第三章 「わざわいなるかな、

このそむき汚れた暴虐の町。

これはだれの声にも耳を傾けず、

懲らしめを受けいれず、

主に寄り頼まず、

おのれの神に近よらない。

その中にいるつかさたちは、ほえるしし、

そのさばきびとたちは、夜のおおかみで、

彼らは朝まで何一つ残さない。

その預言者たちは、放縦で偽りびと、

その祭司たちは聖なる物を汚し、律法を破る。

その中にいます主は義であつて、不義を行われぬ。

朝ごとにその公義を現して、誤ることがない。

しかし不義な者は恥を知らない。

「わたしは諸国民を滅ぼした。

そのやぐらは荒れはてた。

わたしはそのちまたを荒したので、

ちまたを行き来する者もない。

その町々は荒れすたれて、

人の姿もなく、住む者もない。

わたしは言った、

『これは必ずわたしを恐れ、懲らしめを受ける。』

これはわたしが命じたすべての事を見失わない』と。

しかし彼らはしきりに自分の行状を乱した。

主は言われる、

「それゆえ、あなたがたは、わたしが立つて、

証言する日を待て。

わたしの決意は諸国民をよせ集め、

もろもろの国を集めて、

わが憤り、わが激しい怒りを

ことごとくその上に注ぐことであつて、

全地は、ねたむわたしの怒りの火に

焼き滅ぼされるからである。

その時わたしはもろもろの民に清きくちびるを与え、

すべて彼らに主の名を呼ばせ、

心を一つにして主に仕えさせる。

わたしを拝む者、

わたしが散らした者の娘は

エチオピアの川々の向こうから来て、

わたしに供え物をささげる。

二その日には、

あなたはわたしにそむいたすべてのわざのゆえに、

はずかしめられることはない。

その時わたしはあなたのうちから、

高ぶって誇る者どもを除くゆえ、

あなたは重ねてわが聖なる山で、高ぶることはない。

三 わたしは柔和にしてへりくだる民を、

あなたのうちに残す。

彼らは主の名を避け所とする。

三 イスラエルの残りの者は不義を行わず、偽りを言わず、

その口には欺きの舌を見ない。

それゆえ、彼らは食を得て伏し、

彼らをおびやかす者はいない」。

二四 シオンの娘よ、喜び歌え。

イスラエルよ、喜び呼ばわれ。

エルサレムの娘よ、心のかぎり喜び樂しめ。

二五 主はあなたを訴える者を取り去り、

あなたの敵を追い払われた。

イスラエルの王なる主はあなたのうちにいます。

あなたはもはや災を恐れることはない。

二六 その日、人々はエルサレムに向かって言う、

「シオンよ、恐れるな。

あなたの手を弱々しくたれるな。

二七 あなたの神、主はあなたのうちにいまし、

勇士であつて、勝利を与えられる。

彼はあなたのために喜び樂しみ、

その愛によつてあなたを新にし、

祭の日のようにあなたのために喜び呼ばわれる」。

二八 わたしはあなたから悩みを取り去る。

あなたは恥を受けることはない。

二九 見よ、その時あなたをしえたげる者を

わたしはことごとく処分し、

足なえを救い、追いやられた者を集め、

彼らの恥を誉にかえ、

全地にほめられるようにする。

三〇 その時、わたしはあなたがたを連れかえる。

わたしがあなたがたを集めるとき、

わたしがあなたがたの目の前に、

あなたがたの幸福を回復するとき、

地のすべての民の中で、

あなたがたに名を得させ、誉を得させる」と

主は言われる。